

革新的いちご栽培システム

どく
土工いちご

はじめに

このシステムは

従来の土耕イチゴ栽培方法をそのままに、**作業負荷激減、作業効率大幅アップ、収量品質アップ、省エネ、ローリスク・ローコスト**のまさに良いこと尽くめのイチゴ栽培の革新的システムです。ゆとりの農業ができます。
詳細資料ご覧ください。

全ての土耕イチゴ栽培農家さん、新規就農者、家庭菜園家、障害者作業所、カフェ、レストランの集客、屋上庭園農場の提案をいたします。

まずは、論より証拠。是非、農場に来て見学!!

スモールパインファーム

移設中

アイランドファーム

北陸道 入善スマートIC より4km南 浦山新交差点左折500m
北陸新幹線 黒部宇奈月温泉から車で10分

連絡先 椿産業（株）

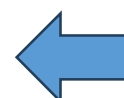
小松一志

tel 090-5342-2552

E-mail:komatsu@tsubakiltd.co.jp

HP

<https://sp-ichigo.jp>

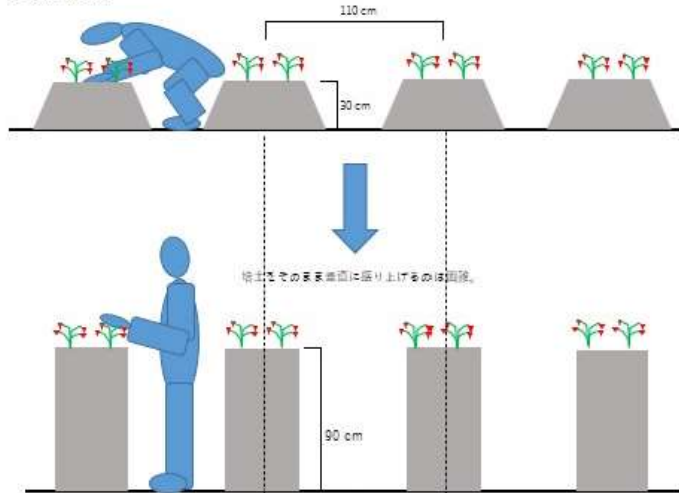


検索

システムの原理

従来の元肥で作る土耕栽培を腰を曲げずに楽に作業すべく、培地を補助材で活用してそのまま直に盛り上げるイメージです。
そうすることによりおのずと作業過酷がでる市販の作業台車を活用でき、労働負荷が激減する。

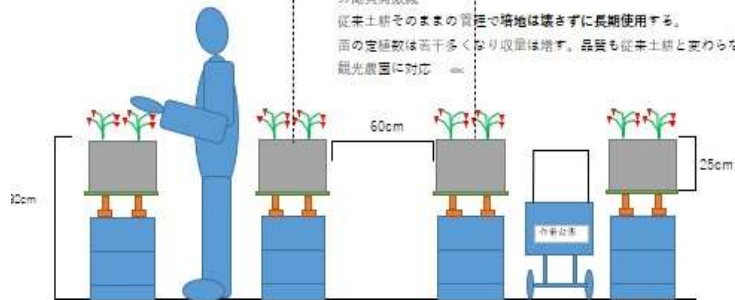
1 従来土耕栽培



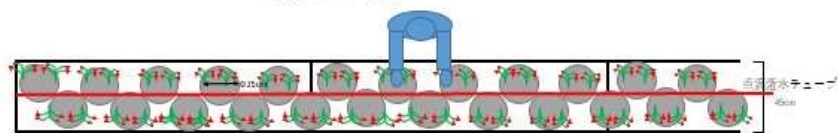
2 新栽培方式イメージ

このイメージをいかに安く市販の材料・機器で再現するか？
結果、苗床栽培と土耕の良とことりの栽培方式になりました。

労働負荷激減
従来土耕そのままの管理や培地は壊さずに長期使用する。
苗の定植数は若干多くなり収量は増す。品質も従来土耕と変わらない。
観光農園に対応



培地レイアウト平面図





商標
(THE MARK)

どくいちご
土工いちご

指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分
(LIST OF GOODS AND SERVICES)

第17類 袋状のいちご栽培用プラスチックフィルム, いちご栽培用プラスチックシート, いちご栽培用プラスチックその他別紙記載

商標権者
(OWNER OF THE TRADEMARK RIGHT)

群馬県太田市長手町183番地

椿産業株式会社

出願番号
(APPLICATION NUMBER)
出願日
(FILING DATE)
登録日
(REGISTRATION DATE)

商願2022-101881
令和4年9月2日 (September 2, 2022)
令和5年3月7日 (March 7, 2023)

この商標は、登録するものと確定し、商標原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE TRADEMARK IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

令和5年3月7日 (March 7, 2023)

特許庁長官
(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

濱野幸一



特許証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第7121878号
(PATENT NUMBER)

発明の名称
(TITLE OF THE INVENTION)

栽培容器の組立方法

特許権者
(PATENTEE)

群馬県太田市長手町183番地

椿産業株式会社

発明者
(INVENTOR)

椿 和雄
小松 一志

出願番号
(APPLICATION NUMBER)

特願2018-016758

出願日
(FILING DATE)

平成30年2月1日 (February 1, 2018)

登録日
(REGISTRATION DATE)

令和4年8月10日 (August 10, 2022)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

令和4年8月10日 (August 10, 2022)

特許庁長官
(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)

濱野幸一



2020年(令和2年)6月3日(水曜日)

(11)

イチゴ栽培、初期費用を安く
培土の柱に環境制御も

肥料メーカーのイチゴ栽培システムを開発した。高設栽培で、培土を初期費用を抑えて、環境制御もできる。イチゴ栽培の初期費用を安く、培土の柱に環境制御もできる。イチゴ栽培の初期費用を安く、培土の柱に環境制御もできる。

1月25日・金曜日 2019年(平成31年)

イチゴ栽培、作業負担低減



立ったままの姿勢で作業できる

イチゴ栽培、作業負担低減

【前橋】イチゴ栽培で作業負担を大幅に低減できる手法を開発した。イチゴを植えるための樹形制御器をテーブル上に設置し、腰をかがめず作業できる。灌漑用チューブなども組み合わせたシステムとして、今春にも既存のイチゴ農家や新規就農者向けに販売する計画だ。

イチゴ栽培で作業負担を大幅に低減できる手法を開発した。イチゴを植えるための樹形制御器をテーブル上に設置し、腰をかがめず作業できる。灌漑用チューブなども組み合わせたシステムとして、今春にも既存のイチゴ農家や新規就農者向けに販売する計画だ。

腰かがめず管理・収穫



イチゴ栽培で作業負担を大幅に低減できる手法を開発した。イチゴを植えるための樹形制御器をテーブル上に設置し、腰をかがめず作業できる。灌漑用チューブなども組み合わせたシステムとして、今春にも既存のイチゴ農家や新規就農者向けに販売する計画だ。

は70センチ程度の通路を確保しており、台車を使った作業が行える。耕運機などの農機具を使用しない簡易なシステムで、農家のほか、駐車場などの小さな空きスペースでも手軽に導入できる。試験栽培で、従来のイチゴ栽培に比べて作業性を改善でき、収穫量も同程度得られることが分かった。

イチゴ栽培で作業負担を大幅に低減できる手法を開発した。イチゴを植えるための樹形制御器をテーブル上に設置し、腰をかがめず作業できる。灌漑用チューブなども組み合わせたシステムとして、今春にも既存のイチゴ農家や新規就農者向けに販売する計画だ。

体が楽なイチゴ栽培法

独自開発、販売へ 土使い省スペース

太田・椿産業

への負担が少ない。栽培方法は特許出願中で、小規模農家に作業の効率化を提案する。



藤岡市内の農場で試験適用している

園芸用有機肥料を製造販売する椿産業(太田市長手町、椿和雄社長)は、独自開発したイチゴ栽培方法の販売に乗り出す。作業者の背丈に合わせて栽培用テーブルの高さを調整し、腰を曲げずに作業できるため

イチゴ栽培で作業負担を大幅に低減できる手法を開発した。イチゴを植えるための樹形制御器をテーブル上に設置し、腰をかがめず作業できる。灌漑用チューブなども組み合わせたシステムとして、今春にも既存のイチゴ農家や新規就農者向けに販売する計画だ。

イチゴ栽培で作業負担を大幅に低減できる手法を開発した。イチゴを植えるための樹形制御器をテーブル上に設置し、腰をかがめず作業できる。灌漑用チューブなども組み合わせたシステムとして、今春にも既存のイチゴ農家や新規就農者向けに販売する計画だ。

2019年(平成31年)2月5日(火曜日)

システムの特徴

イ 圧倒的なコスパ

利用者が自らホームセンター等で材料調達DIYで組立てるシステムです。
次作の苗作りも同じ栽培ハウスで行います。オプションシステム

ロ 労働生産性がよい

60cm以上の作業通路が確保でき立った姿勢ですべての作業ができます。
便利なオリジナルツールが揃っております。

ハ ほぼ全自動

システム以外に市販システムを組み合わせて自動化ができます。

ニ 確実な収穫高品質

土固形肥料をいれ苗を植えてそだてる昔からのシンプルな栽培方法
苗と視線が近いので観察管理がしやすい
土で作るいちごはおいしい。

ホ ローリスク

資金規模に合わせて自由なレイアウトができ拡張が簡単。
ゲリラ豪雨、ねずみの被害がない。

その他DX、スマート農場のオプションがあります。

お役に立てる立てる方

イ いちごを栽培したい農家さん・農業法人(いちごは作っていない)

収益増大、経験値があるので一年目で収益がでます。
人材通年活用

ロ 異業種から新規参入する企業

建設会社の奥村組がいちごを作っている。
自社人材の活用

ハ 新たに農業を始めたいと検討している方

補助金確保

ニ 実家の農業の継承を考えている方

収益率の良い作物
補助金活用

ホ 移住を考えている方

移住先での農業経営
補助金活用

ヘ 退職後の生きがい、収入を考えている方

年金+で小規模施設 +100万円

ト 女性だけで起業したい方

非力な方でも経営できます。
補助金活用

チ 障がい者作業所を検討している方

ストレスない環境で土に触れることで癒されます。
補助金活用

リ 家庭菜園でいちごを作りたい方

地域のコミュニティになります。
健康増進生きがいになります。

ヌ カフェ・ケーキ屋さん

アドバルーンになります。
イメージアップ
小規模

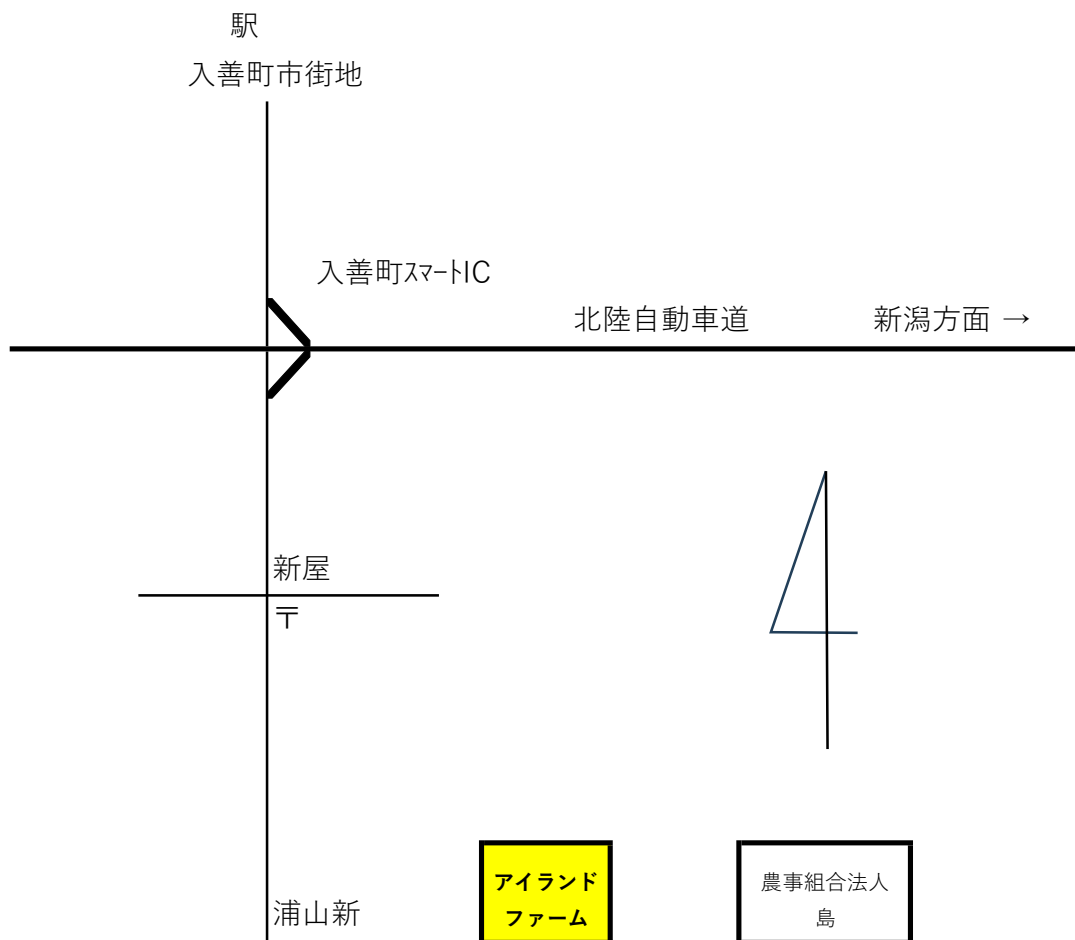








アイランドファーム案内図



農事組合法人 島

富山県下新川郡入善町新屋3054-4

tel 0765-78-2010

小松

を目指してください

090 5342 2552

車 北陸自動車道 入善スマートIC降りて 車で10分

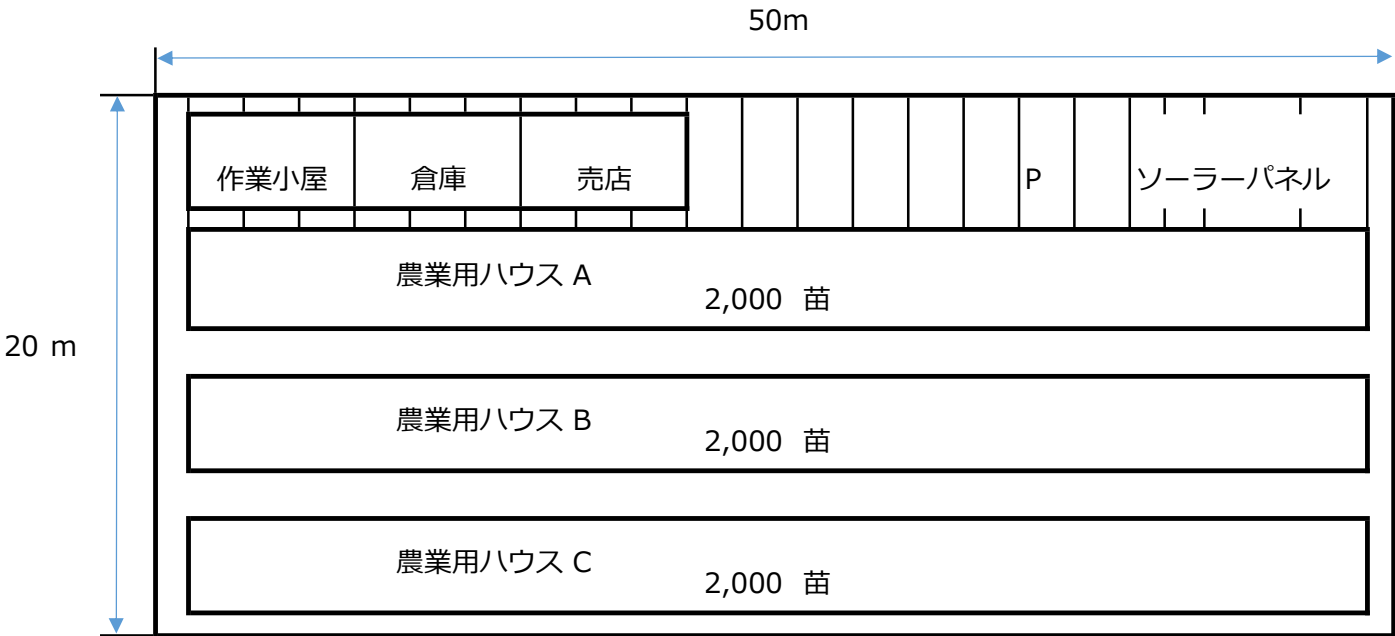
新幹線 北陸新幹線 黒部宇奈月温泉駅 下車 車で10分

在来線 あいの風とやま鉄道 入善駅 下車 車で10分

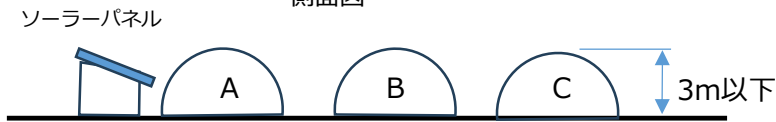
1.栽培条件	イ	日当たりが良いこと	
	ロ	平地であること	農地でなくともよいアスファルトでもよい
	ハ	水源があること	井戸水、水道、河川
	ニ	電源があること	家屋、電柱があること
	ホ	進入路があること	
	ハ	沖縄、北海道除く	
2.栽培面積	1 反	= 1,000 m ²	= 300 坪
	20 m	×	50 m
3.農業ハウス	3 棟	A,B,C	660 m ²
	サイズ	4.5 m × 48.6 m	Φ 25 パイプハウス
			別紙ハウス仕様参照
4.栽培苗数	6,070 苗	9.2 苗/m ² 定植	
5.管理人員	2 人	夫婦でもok	

農場イメージ図

平面図



側面図



支出

イニシャルコスト 17,000,000 円

ハウス価格 (外注)

弊社栽培システム価格

作業小屋、倉庫、売店、ソーラーシステムは含みません

ハウス設置費、システム設置、暖房費、他含む

9,240,000 円 市販ハウス想定単価 14,000 円/m²

6,677,000 円 1苗換算 1,100 円/苗

15,917,000 円

ランニングコスト 1,200,000 円

燃料費、農薬、肥料など

収入

年間収穫量 4.2 t

700 g/苗 × 6,070 苗

年間収入 10,197,600 円

600 円/パック(250 g) 2,400 円/kg

7. 販売方法

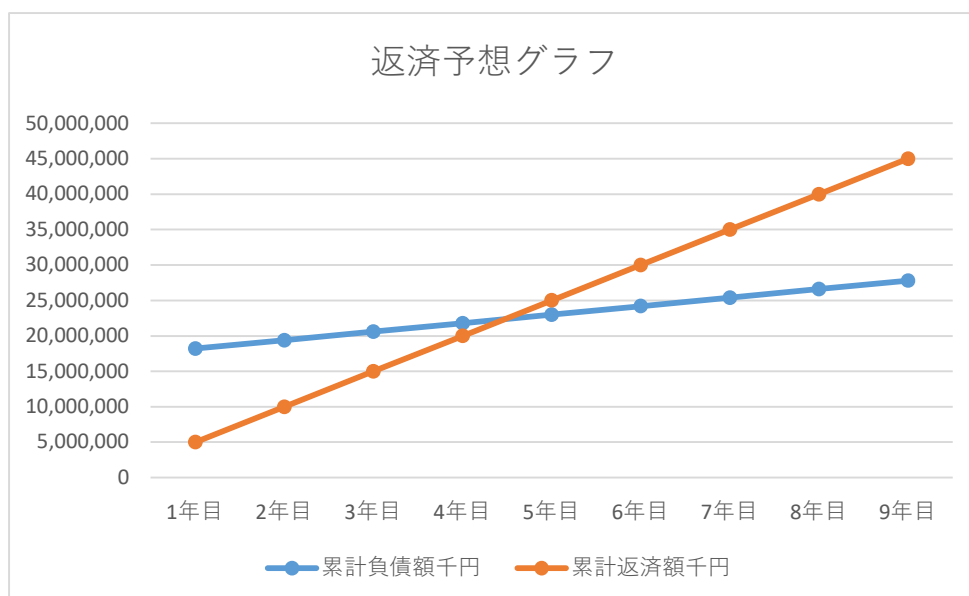
- ・ 原則農場店頭販売 (イメージ図参照)
- ・ のぼり、口コミ集客
- ・ 自動販売機活用
- ・ ネット販売

8. 返済

毎年 500 万円返済とすると 5 年目で返済完了

生活費500万円とし

	累計負債額千円	累計返済額千円	返済残金額千円
イニシャルコスト+ランニングコスト			
1年目	18,200,000	5,000,000	13,200,000
2年目	19,400,000	10,000,000	9,400,000
3年目	20,600,000	15,000,000	5,600,000
4年目	21,800,000	20,000,000	1,800,000
5年目	23,000,000	25,000,000	-2,000,000
6年目	24,200,000	30,000,000	-5,800,000
7年目	25,400,000	35,000,000	-9,600,000
8年目	26,600,000	40,000,000	-13,400,000
9年目	27,800,000	45,000,000	-17,200,000



9. その他

太陽光発電システムを活用したスマートハウス

補助金の活用

e-ラーニングによるシステム設置栽培方法の学習

フランチャイズ経営